

『即戦力！即実行！即実現！』青野ひとし

青野レポート（平成24年の活動から）平成25年 新春号

【5月議会で代表質問】

亀岡市の通学路での痛ましい事故を受け、通学路の安全対策に向け、早急に補正予算を組み、優先順位を決め迅速に取り組むべきと主張。門川市長はスピード感を持って、計画的・継続的に安全対策を図ると答弁。その後、補正予算を編成、全庁横断的に対策が実施されました。

その他、「木造住宅の耐震化」「学校における防災教育」「子育て支援に関する情報発信」「ポリオワクチンの予防接種」「生活保護受給者の就労支援」について質問しました。



代表質問 5/17日

【調査・視察活動】

●京都市の防災・減災対策の現状調査

市内の主要な橋りょうや跨線橋を現地調査。6月26日には、公明党会派の議員と鴨川に架かる御池大橋での“いのち”を守る老朽化対策を調査。経済再建への期待も大きい防災・減災ニューディール政策が国の緊急経済対策の柱に据えられました。



▲御池大橋にて6/26

鴨川東岸線整備事業 11/10▲

●東日本大震災の被災地を訪問、がれき処理の現状を調査（8月2日～3日）

宮城県仙台市・岩沼市等を訪問。「がれき処理」の現状と課題を調査。また、仮設住宅にお住いの被災者並びに支援者の皆さんから直接お話を伺い、改めて震災の傷跡の深さを実感。同時に、国のあまりに心無い対応に憤りを感じました。新政権のもと、防災・減災対策を早急に進め、防災意識の向上と住民同士の絆をより深める施策等に積極的に取り組んで参ります。



▲「がれきの山」と「がれき処施設」仙台市（8/2）▲

▲「仮設住宅入居者らとの意見交換」岩沼市（8/3）

【23年度決算審査で災害対策や認知症対策など質疑】

災害対策や認知症対策など地域の安心・安全の観点から質疑しました。7月、市内各地で豪雨による土砂崩れや浸水被害が発生。8月には、宇治市で天井川が決壊し大災害に。そこで、京都市の水害対策および河川整備の現状と今後の取組などについて質しました。その後、24年度補正予算で、河川の総点検及び改修の予算が計上され、順次整備が進められています。



決算委員会（10/17）

【平成25年度予算要望書 門川市長に提出】

東日本大震災を踏まえ、老朽化する社会資本の再整備等市民のいのちを守る防災・減災対策の推進や、子育て支援や教育の充実、新たなエネルギー政策など187項目を要望として市長に手渡しました。実現に向け全力で取り組んで参ります。



予算要望提出（11/21）

*京都市会ホームページ「会議録検索」にて、質問と答弁がご覧いただけます



公明党 京都市会議員 青野ひとし 市政報告 第5号 (新春号)

青野レポート

「日本再建 その知恵は現場にあり！」

新しい年を迎えられ、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は師走の総選挙で幕を閉じました。3年数か月にわたる民主党のあまりに稚拙な政権運営により、掲げたマニフェストは総崩れ、東日本大震災からの復興はおろか、経済対策や外交・安全保障などもままならず、日本を危機的状況に陥れたことへの国民の怒りと失望が、結果的に自公政権の再登板に繋がったと思われまます。

経済再建、外交立て直した社会保障制度の見直し等々課題は山積です。同時に老朽化した社会インフラの再整備など、国民の命を守る防災・減災対策も喫緊の課題です。いずれの課題も、現場の声すなわち**生活者の視点で、地域の実情を踏まえ**て取り組まなければ、民主党の二の舞になると思います。だからこそ、「**大衆とともに**」の立党精神を営々と受け継いできた公明党の議員として、**一人の人を大切に**する視点を見失わず、「**日本再建、その知恵は現場にあり**」と定め、徹して現場第一主義で、安心・安全のまちづくりに、全力で取り組んで参ります。どうか本年もよろしくお願いたします。

京都市会議員 **青野ひとし**



(自) 〒604-8426 京都市中京区西ノ京船塚町 15-75
 (事) 〒604-8187 京都市中京区笹屋町 438-4 アブニール御池 902 号
 TEL 075-432-7688 Fax 075-320-1644
 ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/aono-hitoshi-nakagyou/>
 E-mail: aonohitoshi@voice.ocn.ne.jp

